

伊平屋・伊是名架橋と伊平屋島空港の進捗について／野甫英芳

伊平屋・伊是名架橋と伊平屋島空港の進捗についてお伺いします。伊平屋・伊是名架橋の案件についても、現在全く進展がない状況です。計画が出てから、もう48年ぐらい経っているんですけど、いまだに進捗がない。ご存じのとおり二、三年前に、名嘉律夫村長や金城信光議長等が県庁へ行って提案書を出しましたが、全く進展がないという状況なんです。

昨日でしたか、村長もこの件について「また考え直す」と、「住民の意見を聞く」という話をしていましたけど、どのように考えているのか。実際、「空港建設をするつもりはあるのか」とか、「伊平屋・伊是名架橋を造るという気持ちはあるのか」とか、聞かせてください。

4月に北部地区大会があつて、村長も一緒に参加するんですけど、北部市町村がその時に「架橋問題を進行しようというシュプレヒコール（参加者が声を揃えてスローガンなどを唱える行為）を会場でやろう」という提案をしているんですよ。そうすると、造るという意志もないのにそういうことばかりをするのかとか、そういうアンバランスなことがありますので、お伺いしたいんです。造るという気持ちであるのか、それとも「無理だろう、諦めて別のことをやったほうがいい」という気持ちなのか、そのへん教えていただけますか。

■議長（金城信光） 答弁、建設課長。

■国吉希善建設課長 野甫議員のご質問にお答えします。現在、全く情報がない状況なので、現在の状況についてお答えします。伊平屋・伊是名架橋につきましては、架橋の総会において承認していただいたと報告を受けておりまして、「これまでどおり要請活動を行う」という意見でございました。また、先の総会におきましては、新年度早々に行う予定と伺っております。

空港につきましては、昨年12月28日に総会を行いまして、前年度までの報告、予算の精算を行いました。1月14日に伊是名村長、伊是名副村長、企画政策課長、担当課長補佐で、本村村長と政策調整監を含めて事務局（伊平屋・伊是名架橋建設促進協議会事務局）での意見交換会を行っております。現状、どちらも厳しい回答を県より受けておりますが、架橋、空港ともに要請活動は行うということで、両村、理解一致しております。

また2月12日に、村長と同席して現状についての報告を県から受けております。架橋同様に厳しいご意見を受けておりますが、「便益となり得る新たな産業の確立や人口減少の抑制に尽力していただき、就航いただける航空会社も探していただきたい」旨のご意見がございました。

今後は、空港につきましては6月までに総会を行う予定をしております。要請活動や新たな産業の計画についても、庁内及び空港建設促進委員会において検討を行っていく必要があると考えております。

■議長（金城信光） 野甫議員。

■7番 野甫英芳議員 伊是名にも一時期、簡易的な空港がありまして、4年間ぐらいやっていたんですけど、飛行機会社が倒産して、その空港は停止しています。倒産した会社が伊是名島で空港を運営している時に、「一人か二人しか乗らないということもあった」と。その時は伊江島を経由して伊江島から人を乗せてやっていたり、いろんな状況がありました。例えば伊平屋島に空港を造って、橋を架けて伊是名とつながって、航空旅客数が増えると、今度は船舶会計が弱ってくる。結局、フェリーの利用者がいなくなるとか、いろんな問題が発生するんですが、そのへんも加味した上で空港を造るのか、橋を造るのかとか、行政ではどのように考えているのかが一般住民に全く伝わっていないんですよ。そのへんどうですかね、村長。

結局、橋を造るとか空港を造るとかもう四十年、やがて五十年近くなるんですけど、はっきり諦めるのか、できあがるまでやっていくという気持ちなのか。どうですか、村長。

■議長（金城信光） 答弁、真栄田孝村長。

■真栄田孝村長 この空港問題に関しては、先ほどありましたように四十年前からの構想ということで、やはりあの時代というのはあまり、情報が今のようにそう簡単には手に入らない時代であったという中で、「那覇から直接伊平屋島に観光客が来るぞ、島が潤う」というので、夢のような構想でやっていたと思います。今はもう時代が進んで、2026年現在、情報は世界共通で地方格差があまりなくなってきています。村民

の若者に関しても、自分たちの事業だったり伊平屋島のことだったりをして、インスタ等 SNS で情報をバンバン発信することで、例えば北海道の人が見ている「行きたいな」と思ったりする。そういう情報量の違いによって、「空港を造りたい」という最初の思いと、今の思いはだいぶ違うと考えています。

「昔と今で空港を造るメリットを比べたら、今は無いかな」と思っています。800メートルの滑走路では飛べる機種も限られてきます。担当課長と県庁で話していた際に、「1500、2000 ができないか」という打診をしたんですが、「埋め立て等々をやらないと、伸ばすことは難しい」という回答でした。「埋め立ててまで造るべきなのか。野甫島を埋め立ててまで造って良いのか、悪いのか」というのも、やっぱり村民に聞いてから。本当に埋め立てしてまで、先人の皆さんが描いた夢『伊平屋島空港』を造るべきなのかというのを、再度検証したい。

個人的な話で言えば、「そこも本当にどうなのかな」というのもあって、今回、自分の政策にも取り入れて見直したうえで「みんなで足並みを揃えて手を挙げて、はっきり造りたいって言うことは、できない」というのは、実際あります。

架橋に関しては、北部全体で「北部は一つ」ということで、東村も含めて北部でやっていくというのが前々から決まっている構想ですので、橋に関しては「造ったら、どうなるか」というのを聞きながら、「造ったからどういうふうに島が変わるのか、伊是名が変わるのか、北部が変わ

るのかというのを検討しながら、北部は一つ」ということで考えていきたいと思っていますので、16日の決起大会には北部の一員として皆さんと一緒に声を上げて、北部の課題を述べていきたいと思っています。

■議長（金城信光） 野甫議員。

■7番 野甫英芳議員 分かりました。田名池再生、それから伊平屋島空港、伊平屋・伊是名架橋とか、そういう話題が住民の皆さんには全く伝わっていないんですよ。だから、「ただ『造る、造る』だけ言って何もしないじゃないか」という話になっていますので、検討して、現在どのような状況だということを、これから報告をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。この件については質疑を終わります。